



2023年6月29日

各位

会社名 キムラユニティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 成瀬茂広
(コード番号 9368 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役副社長 管理本部長 小山幸弘
(TEL: 052-962-7053)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年6月29日に開催した取締役会にて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

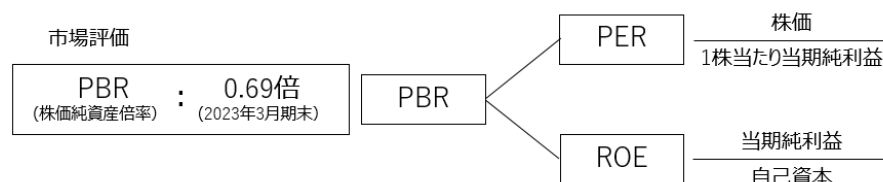
1. 現状評価

当社は、2023年度を最終年度とする中期経営計画で掲げた各種戦略を推進する中、2022年度の売上高は2期連続の増収、営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益は2期連続、経常利益は5期連続の増益と、着実に事業の成長と発展を遂げさせて頂いており、2023年度につきましても、増収増益、過去最高の更新を予想しております。

また、ROE（自己資本利益率）につきましても、2022年度、7.55%まで水準を上げ、2023年度は、中期経営計画で掲げた8%を達成できるものと予想をしております。

一方、PBR（株価純資産倍率）につきましても、これまでに実施した株式分割の実施、配当予想額の増加、自己株式の取得、株主還元方針の変更等の施策により、2019年度の0.43倍から、2022年度は0.69倍まで水準を上げることができております。

しかしながら、依然として、1倍を下回っていることから、株価は割安で推移しているものと考えております。



2. 方針・目標

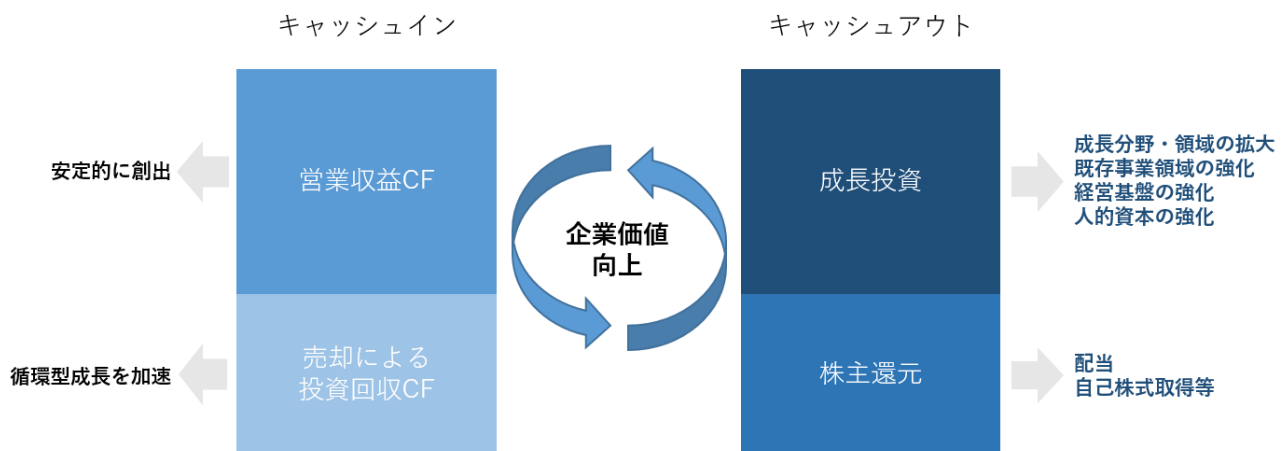
当社の資本政策につきましては、「資本収益性の向上」と「資本コストの低減」を両輪とした事業活動を通じて、重点分野への積極的投資や株主還元の向上等により、持続的な成長の実現に向けた企業体質の改善と企業価値の向上に努めることを基本方針としております。

また、資本コストを上回る利益を創出するために、当該コストを定期的に把握・検証するとともに、財務健全性を確保しつつ、当社にとって、最適な資本構成を追求してまいります。

なお、具体的な目標としては、PBR1倍超の早期実現を目指してまいります。

3. 取組み・実施時期

下記のキャッシュ・アロケーションを適切に管理することにより、成長投資と株主還元を戦略的に配分し、事業の成長と資本収益性の向上を図ってまいります。



また、当社の取組みについて、投資家の方をはじめとするステークホルダーの皆様に理解を深めて頂くため、積極的な情報開示と能動的な対話による発信を強化してまいります。

引き続き、現中期経営計画に掲げた各種戦略を推進するとともに、現在、着手している新中期経営計画の策定において、中長期的な視点での取組みを具体化してまいります。

なお、本内容につきましては、新中期経営計画の策定完了後、速やかに開示いたします。

以上